

ねんかんだい14主日 <sup>しゅじつ</sup> きょうのふくいんしょ(マタイ11・25～30)

みなさま、おげんきですか、がっこうはふつうのじかんになってたくさんのおんげんぎをされているとおもいます。あついからきをつけてね、またきょうかいがっこうはまだできないので、ごかぞくでいっしょにきょうのふくいんをよんではなしあってね。

きょうのふくいんしょをかきます。マタイ。11・25～30

そのとき、イエスはこういわれた。「てんちのしゅであるちちよ、あなたをほめたたえます。これらのことをちえあるものやかしいものにかくして、おさなごのようなものにおしめしになりました。そうです、ちちよ、これはみこころにかなうことでした。すべてのことは、ちちからわたしにまかせられています。ちちのほかにごをされるものはなく、こと、こがしめそうとおもうものの他は、ちちをされるものはいません。つかれたもの、おもにをおうものは、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。私はにゅうわでけんそんなものだから、わたしのくびきをおい、わたしにまなびなさい。そうすれば、あなたがたはやすらぎをえられる。わたしのくびきはおいやすく、わたしのにはかるいからである。」

きょうは、イエスさまがおもしろいことをいっています。「おさなごのようになりなさい」、また「つかれたもの、おもにをおうものは、わたしのもとにきなさい。」といっていますが、イエスさまはわたしたちになにをいいたいとおもいますか。

あかちゃんは、ちいさいときひとりでもなんにもできない。おとうさんやおかあさんのせわをしてもらっていますね。あかちゃんはおやのぬくもりをからだでかんじて、そのときあかちゃんはおやにしんらいして、あんしんして、ドンドンおおきくなっていきます。わたしたちもたくさんのひとにささえられながら、すこしづつおおきくなっていきます。きょうのふくいんしょでは、てんのおとうさんのおしえを「ちえのあるものやかしいものにかくしておさなごのようなものにおしめしになる」とかいてあります。さきほどかきましたように、おさなごは、ひとりでもなんにもできない、ちからもない、いばらない、ちいさなそんざいです。

なんにもできないということは、とてもたいせつなことです。だんだんおおきくなっていくと、じぶんがなんでもできるとおもうので、かみさまのことをわすれていってしまいます、ですからイエスさまがおっしゃっている、あたまのかしいひとやちからあるひと、おかねもちのかみさまのことをりかひできなくなる、わからなくなるので、おさなごのようなところにもどって、かみさまにしんらいして、まいにちをすごしてほしいということなのです。

もうひとつは「おもにをせおっているもの、わたしのもとにきなさい。わたしはやすませてあげよう。」

わたしたちは、まいにちせいかつしていくうちに、いろいろなできごとがあつて、わたしたちのせなかにふくろをかついでいるようなかんじで、いやなことがあると、そのふくろのなかにいれていって、ますますおもたくなっていきます。

ほく、わたし、どんなふくろをせおっているでしょうか。おもたいですか、おもたくないですか、どんなものをいれていっていますか。

おもたくなったら、イエスさまにたのんで、かるくしてくださるようにおねがいしましょう。かならずイエスさまはかるくしてくださると、しんらいしましょう。